



香川県森連時報

平成24年2月発行(年2回)
〒760-0008
高松市中野町23番2号
Tel:087-861-4352(代)



新年のご挨拶

香川県森林組合連合会 代表理事長
木村 薫

新年明けましておめでとうございます。

森林組合の役職員をはじめ組合員の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年を迎えたことと心からお慶び申し上げます。また、本会業務運営につきまして格段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は3月11日の東日本大震災、原発事故発生、更には、台風災害の発生により、日本が激しく揺れ動いた一年でありました。被災地の一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

さて、経済情勢については震災と原発事故による国内の混乱に加えて、歴史的円高、欧州各国の債務問題が世界経済を揺るがすなど、先行き不透明な情勢が続いており、厳しい状況となっております。

林業情勢については、十年後の木材需給率50%を目指し、国産材の利用拡大を図る「森林・林業再生プラン」がスタートとなり、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の施行などにより地域材の需要拡大が期待されます。

こうした状況のなか、我々森林組合系統においては、本年度から「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」を全国的に展開し、提案型集約化施設、低コスト林業の確立、国産材の安定供給体制の強化など、地域林業・経済の活性化に取り組んでまいります。

最後に、会員の皆様をはじめ関係機関各位のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、組合員の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

監事	監事	代表監事	理事	理事	理事	副会長理事	代表理事長	香川県森林組合連合会
井上喜代文	三谷正俊	笠川定義	松浦可穂	近藤貢	三角正博	有馬督治	千葉宗和	木村薰

謹
新
年
賀

森林組合長会議開催並びに 森林の保全・整備の推進についての要請活動

9月12日(月)、12月16日(金)本会二階会議室において、県下各森林組合の組合長会議を開催し、森林整備を促進するため、予算の財源確保、安定的な財源として「森林税」の導入を図る「森林整備の促進に必要な財源の確保」・県産木材の普及啓発、情報発信を行い、県産木材製品等の利用促進を図る「県産木材の利用促進・需要拡大」・林地内に放置している未利用林地残材の活用を図る施策を構築する「林地残材有効活用の推進」を柱に、県内の林業振興を図るなどの予算要望事案について、また9月25日に落成した「かがわ木材加工センター」に係る県産材の販売についてなどを協議・検討した。

12月16日(金)には、本会並びに県内森林組合長会議で、県及び県議会に、上記要望事項の要請を行った。

2011ウッディフェスティバル

10月8日(土)、9日(日)の両日、市内イベント会場「サンメッセ」に於いて、浜田香川県知事・山本県議会議長・西村香川森林管理事務所長らを迎へ、本会は香川県木材需要拡大協議会会員として、屋内・屋外の各ブースで各種イベントを展開した。

第56回香川県植樹祭

11月12日(日)、香川県さぬき空港公園アドベンチャーゾーンの芝生広場にて、浜田香川県知事をはじめ、県議会議長他のご列席の下、第五十六回香川県植樹祭（「かがわ山の日」記念事業）が行われ、本会も木村会長他多数の職員が参加した。



平成23年度第1回森林組合担当者会議開催

11月25日(金)、本会二階会議室に於いて、県内森林組合の担当者に「会計制度の見直しに係る決算関係書類様式等の一部改正」・「コンプライアンス態勢の確立」「人権問題」についての会議を行った。



認定事業体指定

林業労働力確保の促進に関する法律の規定により、本会は、11月30日、労働環境の改善、募集方法の改善その他の雇用管理の改善及び森林施業の機械化その他の事業の合理化を一体的に図るために必要な措置を図る認定事業体として、香川県知事より指定を受けた。

林業労働安全衛生研修会・特殊健康診断開催

12月9日(金)香川東部森林組合、13日(火)香川西部森林組合、19日(月)塩江町森林組合に於いて、林業・木材製造業労働災害防止協会中国・四国地区担当 陶山芳伸安全管理士を迎へ、林業労働安全衛生について、研修会を総勢百三十余名の林業事業体関係者に行い、チェンソー従事者については、特殊健康診断も行った。



(林業労働安全衛生研修会)



(特殊健康診断)

香川県山林種苗協同組合情報

香川県山林種苗協同組合では平成23年10月3日、12日の二日間、県下生産者の苗畑において県林業普及担当者立会のもと、平成24年、25年春用の林業用苗木の得苗調査（第2回目）を実施しました。

また、平成23年11月24日の理事会において、篠原茂木理事が新理事長に就任したことから、装いも新たに組合業務を遂行してまいりますので、関係機関各位のご理解とご高配をお願いいたします。



2012国際協同組合年について

2012国際協同組合年は、世界の抱える貧困、金融・経済危機、食糧危機、気候変動などをはじめとする現代社会の重要課題の解決に向けて協同組合が大きな役割を果たすことを期待して、2009年12月の国連総会で決議されたものです。

国際協同組合年は、協同組合の社会的役割と価値を広く認知させるとともに、協同組合を一層発展させることを目的としています。

協同組合の組合員、役職員にとってみれば、地域における協同組合の役割發揮と貢献を進めるとともに、協同組合の意義と役割について国内外の協同組合の仲間と共に学び、実践し、交流し、広く地域社会の人たちに伝え、協同組合の仲間と理解者を増やしていく絶好の機会です。さらには政府や地方自治体の協同組合育成強化政策を確立する機会もあります。

このため、日本国内の協同組合は、全国段階で各種協同組合やNPO法人等の代表、学者・文化人・マスコミ関係者等で構成する国際協同組合年全国実行委員会を発足させました。

全国実行委員会では全国段階だけの取り組みにとどまらず、全国委員会の取り組みと連携した、創意工夫ある多彩な都道府県での取り組みを呼びかけており、香川県においても記念行事を計画しています。

記念行事の具体的な内容につきましては、これから検討してまいりますが、我々香川県内の森林組合系統としても、この取り組みに積極的に参加し、有意義な行事にしていきたいと考えておりますので、組合員の皆様のご理解とご協力を願いいたします。

コンサルタント室 だより

コンサルタント室では現在、丸亀市青ノ山地区造林事業実施測量調査等業務委託と県営林搬出間伐基礎データ作成業務委託（緊急雇用創出基金事業）を受注し、鋭意実行中である。

先に受注した県営林間伐データ作成業務は現在、周囲測量が終了し毎木調査等のデータ収集という佳境を迎えたが、積雪等の天候不順により危険が予想されるため安全に作業を進めるよう注意して取り組んでいきたい。



森林組合系統組織を挙げて取り組もう人権問題

— 人権問題の啓発推進に取り組むこととなる基本事項 —

★人権問題の取組に当たっては、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、HIV感染者等、刑を終えて出所した人などへの偏見や差別を除去することを内容とする国民行動計画の趣旨を踏まえ、それぞれの分野において自らの問題として積極的な役割の發揮に努めること。

特に、同和問題の早期解決は人権問題の重要な柱であることに留意すること。

★職員採用に際し、戸籍謄本等プライバシーに係わる書類の提出を求めるることはできません。

★人権問題の啓発推進に当たっては、職場内検討会を実施する等により、役職員一人一人が人権意識を高め、他者の価値を尊重する意識・態度の涵養が図られるよう創意工夫すること。

★森林組合、県森連等の長は、人権問題啓発推進担当者（総務担当部署において人権問題啓発担当の責任を有する者をいう。）又は人権問題啓発推進担当部署が活動できるような環境整備に努めること。



全国森林組合連合会 人権問題啓発推進事業

風害
水害
雪害
噴火災
干害
潮害
火災
凍害

うちの森林に限つて
と思つていませんか？

いつ来るかもしれない「その時」のための森林国営保険。
8つの災害からあなたの森林資産を守ります。



平成22年度
支払保険金
保険支払件数2,419件
約4億6千円



お申し込みは全国の市町村、森林組合、都道府県森林組合連合会の窓口で
お受けしております。

H23